

行政評価に基づく課題傾向分析に関する審議

概要

別冊「行政評価シート」から個別課題を洗い出し、「課題の傾向」分析により関連性の高いジャンルで、カテゴリー分けを行いました。

⇒下記の3点を市の共通的な課題として設定しました。

- 1 市の取組や情報配信媒体についての認知度が高まらない
- 2 市内で活動している団体や会員の担い手不足
- 3 市の事業に対する参加率（利用率）が高まらない

○3点の共通課題に対しては、庁内検討機関である「総合計画等推進会議」で議論し、共通課題に対する「改善の視点（課題解決に向け必要と考えられる視点）」と「改善策（案）」を、別紙「審議用シート」のとおりまとめました。

○審議会委員の皆様におきましては、「審議用シート」についてご審議をいただき、課題解決に向け、幅広い知見に基づいたご意見や、さらなるアイデアをいただきたいと考えております。

なお、本審議会を通じていただいた意見等につきましては、全庁にフィードバックを行い、各所管課の状況に応じ、対応を検討していくことを予定しております。

審議のゴール

○改善の視点や改善策について、個別課題を抱えている所管課にフィードバックするため、審議会による審議を踏まえ、別紙「審議用シート」を完成させることとなります。

審議方法

① 「改善の視点」に関する審議

・庁内審議を踏まえ整理した「改善の視点」に対し、「同意」又は「反論」又は「追加提案」の視点でご審議をお願いいたします。

② 「改善策（案）」に関する審議

・庁内審議を踏まえ整理した「改善策（案）」に対し、「同意」又は「反論」又は「追加提案」の視点でご審議をお願いいたします。

※①及び②、いずれの審議におきましても、特に「追加提案」について、委員の皆様からのご意見を多くいただきたいと考えております。

この審議方法の狙い

① 審議の的を絞りゴールを明確にすることで、十分な審議時間を確保すること

② 分野に捉われない審議内容とすることで、委員の皆様から広く意見をいただくこと

③ 市の共通課題に対して、委員の知見を取り込むこと

*****以降参考*****

事務局作業から総合計画等推進会議までの流れ

<事務局作業>

作業① 行政評価シートにおける個別課題の洗い出し

※洗い出しにあたってのルール

- ・シートから課題であることが明確に受け取れること
- ・以下の3点を除外
 - (1) 課題解決策が一定程度明確に示されているもの
 - (2) 所管課での課題解決が図れるもの
 - (3) 特定のステークホルダーを対象とした課題等

作業② 個別課題における「課題の傾向」分析

※傾向分析にあたってのルール

- ・個別課題を関連性の高いジャンルでカテゴリー分け
- ・所管課における課題認識及び課題要因分析の妥当性については考慮しない

作業③ 「改善の視点」の洗い出し

※洗い出しにあたってのルール

- ・共通課題の解決に向け必要と考えられる視点

<総合計画等推進会議>

審議① 「改善の視点」に関する審議

[目的]改善の視点の洗い出し

[方法]事務局が洗い出しを行った（案）に対し「同意」又は「反論」又は「追加提案」の観点で議論

審議② 改善策（案）に関する審議

[目的]改善策の検討

[方法]ブレインストーミング法を用いた議論

審議③ 総合計画等審議会で審議いただく優先順位に関する審議

[目的]審議会で審議いただくジャンルの優先順位付け

[方法]以下の視点等に基づき議論して決定

- ・行政として優先的に解決しなければならないもの
- ・解決策が行政内部で導き出せなかったもの
- ・市民・事業者の意見を参考に検討すべきもの
- ・委員から幅広く意見を収集することができるもの